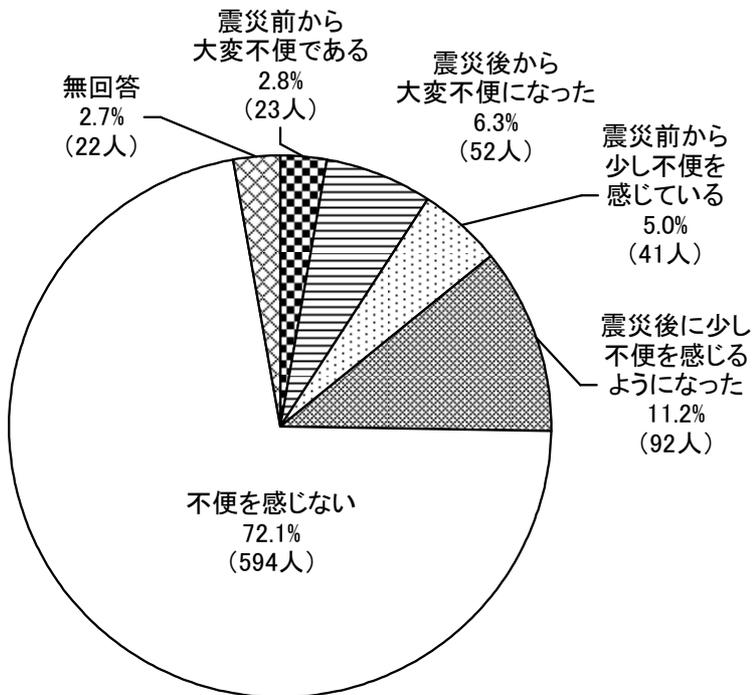


## 4 震災後の商業環境について

### (1) 現在の「買い物環境」

問15 震災前の状況を踏まえうえで、現在のあなたの「買い物環境」についてお伺いします。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

全体  
(n=824)



現在の「買い物環境」は、「不便を感じない」(72.1%)が最も多く7割強となっている。以下、「震災後に少し不便を感じるようになった」(11.2%)、「震災後から大変不便になった」(6.3%)、「震災前から少し不便を感じている」(5.0%)、「震災前から大変不便である」(2.8%)が続いている。

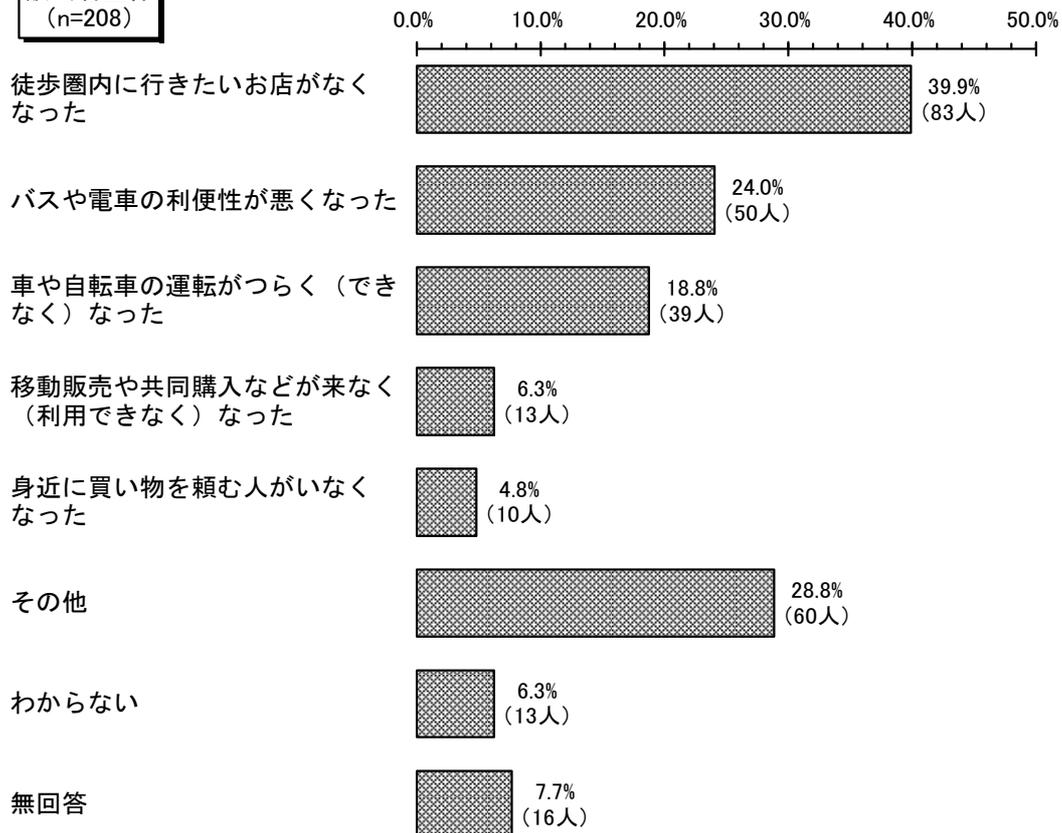
## (2) 買い物で不便を感じること

(問15で「1 震災前から大変不便である」、「2 震災後から大変不便になった」、「3 震災前から少し不便を感じている」または「4 震災後に少し不便を感じるようになった」とお答えの方にお尋ねします。)

問15-1 問15で回答した不便を感じることは、どのようなことですか。  
特にあてはまるもの2つに○をつけてください。

(問15で「5 不便を感じない」を選択した方は回答不要です。)

該当者全体  
(n=208)

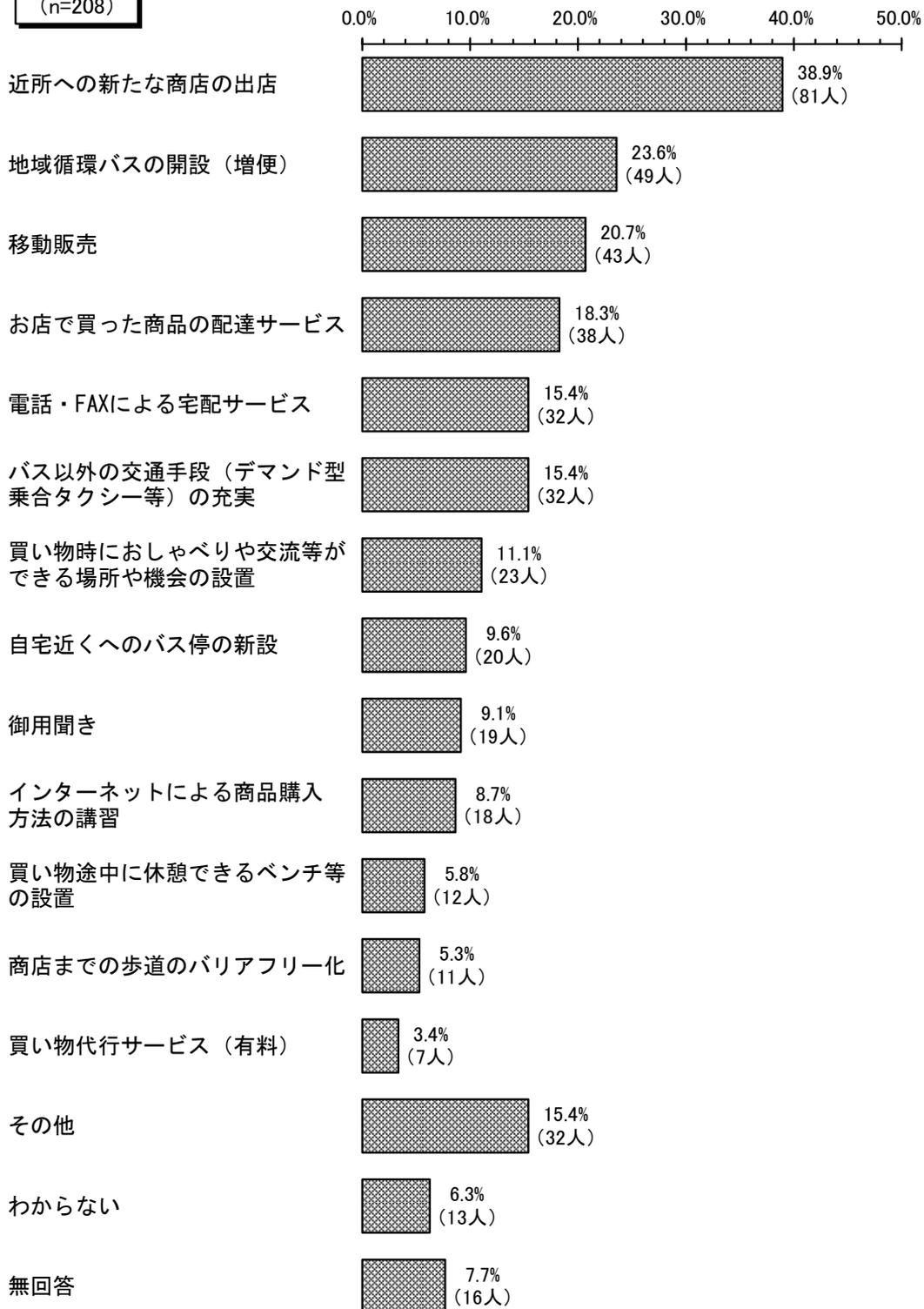


不便を感じることは、「徒歩圏内に行きたいお店がなくなった」(39.9%)が最も多く4割となっている。以下、「その他」を除き、「バスや電車の利便性が悪くなった」(24.0%)、「車や自転車の運転がつかなく(できなく)なった」(18.8%)が続いている。

### (3) 買い物の不便さを改善するために必要なこと

問15-2 問15-1で回答した内容を改善するために何が必要だと思いますか。  
 あてはまるもの3つに○をつけてください。  
 (問15で「5 不便を感じない」を選択した方は回答不要です。)

該当者全体  
 (n=208)

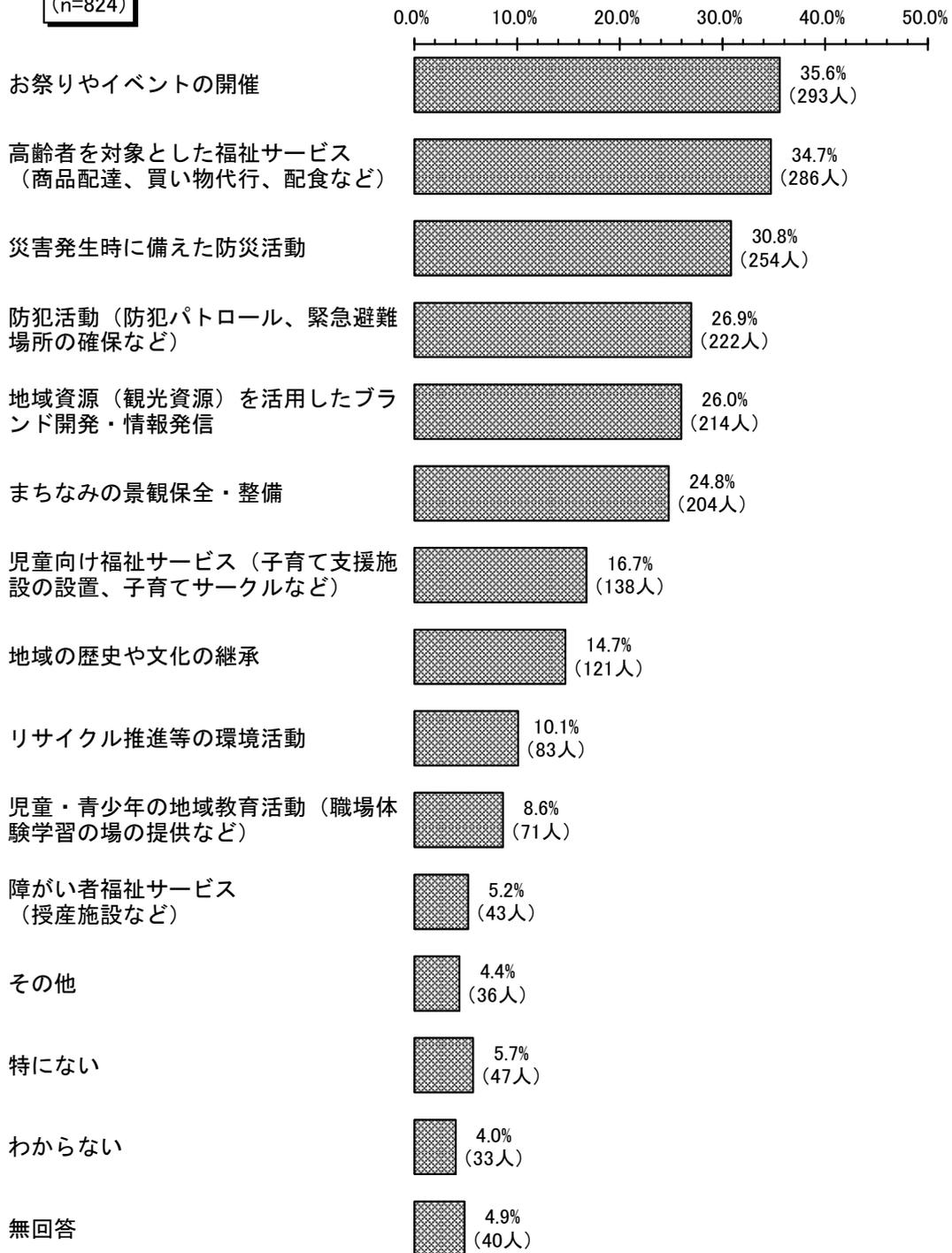


買い物の不便さを改善するために必要なことは、「近所への新たな商店の出店」(38.9%)が最も多く4割弱となっている。次いで「地域循環バスの開設(増便)」(23.6%)、「移動販売」(20.7%)が2割台、「お店で買った商品の配達サービス」(18.3%)、「電話・FAXによる宅配サービス」(15.4%)、「バス以外の交通手段(デマンド型乗合タクシー等)の充実」(15.4%)、「買い物時におしゃべりや交流等ができる場所や機会の設置」(11.1%)の順となっている。

#### (4) 商店街に期待する機能

問16 県は、震災後の復興に向けての対応として、地域コミュニティの核となる商店街のにぎわいづくりを進めることとしています。  
 そこで、にぎわいにつながるような、商店街がこれから有すべき機能として、あなたはなにを期待をしていますか。  
 あてはまるもの3つに○をつけてください。

全体  
(n=824)



商店街がこれから有すべき機能として、「お祭りやイベントの開催」（35.6%）を期待する人が最も多く、ほとんど差がなく「高齢者を対象とした福祉サービス（商品配達、買い物代行、配食など」（34.7%）が続いている。以下、「災害発生時に備えた防災活動」（30.8%）、「防犯活動（防犯パトロール、緊急避難場所の確保など）」（26.9%）、「地域資源（観光資源）を活用したブランド開発・情報発信」（26.0%）、「まちなみの景観保全・整備」（24.8%）などとなっている。